

## ◆奨励賞◆

### 次女の反抗期と私の感謝

浜 岳 中 学 校 二 年

山 口 夏

切」だということ。あたり前だけど意外とできていなかつた。次女は反抗期だから何かお願いされてもいらいらして「何でうちがやるの。」と言ひながらやるから私はその時何も言わないようにしていた。もつと怒らせたくないつたから。でも、それは逆効果だと気づいた。同時に感謝をしたら良いと学んだ。私は、次女が写真を撮つてくれても感謝するのを忘れていた。だから私はこれから、どんな時でも感謝できる人になる。

ついに始まつた次女の反抗期。自分の思い通りにできないと怒るし、一緒に写真も撮つてくれない。私は次女が大好きだけど、次女は私が嫌いだと言つてゐる。そんな次女との夏休みのある一日の話。

その日は、家族とプールに遊びに行つた。水着に着がえた妹たちがすぐ可愛かつたから写真を撮りたいとお願ひした。次女にいやと言われた。と思つたけど、

「いいよ。」

と言つてくれた。私はその言葉がすごく嬉しかつた。その写真は妹たちが太陽のようにキラキラして見えた。

撮り終わつて私たちは外のプールに入つて遊んでいた。少し風が吹いた時、ボールが次女の近くに飛んできた。次女は、ボールを男の子に返してあげた。

「ありがとう。」

と男の子が感謝をして帰つた。それを聞いた次女は少し嬉しそうだつた。

その後、次女は反抗はしなかつた。むしろ私たちに優しくしてくれた。三女とのけんかもなく、仲良くしてゐた。こんな次女を見るのは久しぶりだと感じた。次女も私たちも幸せだつた。

私は、この日を通して学んだことがある。それは、「感謝をすることの大